

「あかり」遠赤外線宇宙地図の高校生対象 実習型企画への活用

服部 誠(東北大・理・天文)



もし天の詳細は、<https://www.astr.tohoku.ac.jp/~hken/MosiTen/> をご参照ください。

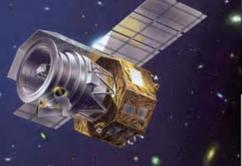
「あかり」遠赤外線宇宙地図

「もし天」は、東北大学天文学教室と仙台市天文台が共同で開催する、高校生向け天文学者職業体験実習です。日本学術振興会“ひらめき☆ときめきサイエンス”の支援を受けてH23、24年度の2回開催してきました。今年度は2つのチームに分かれ、8月6日から12日までの一週間7名の受講生達が合宿して実習を行いました。ひらめき☆ときめきサイエンスは、科学研究費補助金の支援を受けて得た最新の研究成果を小・中・高生に体験を通じて分かり易く伝え、科学研究活動への興味を醸造することを目的としています。これまでの「もし天」では、東北大学天文教室の最新の成果の一つである“あかり赤外線観測衛星のデータを用いて作成した遠赤外線宇宙地図の各チームの研究活動への活用を通じて、私達の最新の研究成果に触れてもらっています。

(ISAS/JAXA)
あかり

平成18年2月22日鹿児島県内之浦宇宙観測書から打ち上げ

あかり赤外線観測衛星



東北大学天文教室所有のスーパーコンピュータを用いて遠赤外線宇宙地図を作成



主催：東北大学天文学教室・仙台市天文台・日本学術振興会

後援：宮城県教育委員会

平成24年9月3日、17日付け
日刊工業新聞 キラリ研究開発
で紹介された「もし天」実施風景

多波長観測で星雲の進化の謎に挑んだ
チームSKOTは、各星雲の星形成率の
見積もりに「あかり」データを用いました。



渦巻き銀河の渦巻き構造の起源に迫った
チームSpiralは、銀河系内宇宙塵による
系外銀河の色の赤化補正に「あかり」
データを用いました。



日刊工業新聞2012年9月3日(月)掲載



平成25年度も
「もし天」やります。
期間は12月22日
～28日の7日間
です。

次回から観測実習に
ひとみ望遠鏡が
使えます。
次回は平成24年度
受講生が全年度実施
した研究をより発展
させるアドバンス
コースも並行して
開講します。